

◆文化を伝え育み誰もが笑顔で
いきいき暮らすまちの実現に向けた施策



福祉人材の確保に向けた取組の強化

予算額 1,295万円

ポイント 資格取得講座や介護事業者向けの人材確保支援策を実施します！

事業概要

■背景・目的

大田区では、福祉・介護事業者との連携・協働により人材の確保に取り組んでいますが、生産年齢人口の減少に伴う慢性的な人材不足やいわゆる2040年問題などにより、福祉・介護人材の需給ギャップの拡大が懸念されています。

このような背景を踏まえ、国や東京都も、処遇改善や就業環境の整備を進めていますが、区においても、大田区福祉人材育成・交流センターによる人材確保に向けた取組を一層強化し、福祉サービス提供体制の維持・向上を図ります。

■事業内容(取組を強化する主な事業)

(1) 介護職員初任者研修の開講(2講座/年度、各回定員12名)

介護保険による訪問介護サービスなどに従事するために必要となる介護職員初任者研修を区独自で開講し、介護従事者の養成を図ります。

<対象者> 区内の介護事業所などに就労する意思のある区民

<受講費> 無料(テキスト代含む)

<内 容> 通信講座+スクーリング



(2) スポットワークサービスの利用料の助成

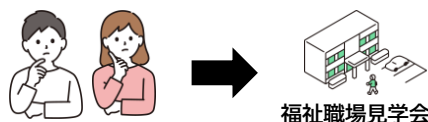
有資格者に特化したスポットワークサービスを利用し、スポットワーカーを雇用した介護事業者に対して、サービス利用料およびスポットワーカーの給与の助成を行います。

<対象事業者> 区内に所在し、区が規定する介護サービスを提供する事業所

<助 成 額> 上限10万円/1法人(補助率10/10)

(3) 福祉施設・福祉事業所見学会

福祉の仕事に興味がある方が、区内の福祉施設・福祉事業所の職場見学を行い、仕事内容や職場の様子、仕事の魅力に触れることで、福祉分野への就労意欲の醸成を図ります。



問合先

福祉部 福祉管理課長 山浦 電話:03-5744-1241

福祉現場におけるハラスメント相談窓口の設置 **新規**

予算額 413万2千円

ポイント 福祉現場におけるカスタマーハラスメント相談窓口を開設します！

事業概要

■背景・目的

区内の福祉事業所などでは、カスタマーハラスメントへの対応に苦慮している現状があり、現在、区内福祉事業者と協働して、カスタマーハラスメント対策マニュアルの作成に取り組んでいます。

令和8年度の労働施策総合推進法改正により、カスタマーハラスメント対策の強化がより一層求められることを踏まえ、これまで実施してきた大田区福祉人材育成・交流センターによる「カスタマーハラスメント対策」の実施に加えて、新たに福祉事業所・福祉従事者向けのカスタマーハラスメント相談窓口を区独自に設置します。

区内の福祉従事者が安心して働くことのできる環境の整備と福祉サービスの質の向上を図ります。

■事業内容

カスタマーハラスメント未然防止に向けて福祉事業者が講じる対策や、カスタマーハラスメントへの対応方法に関する相談に応じ、助言などを行います。

《相談時間》

月曜日～金曜日 9時～17時(予定)
(祝日および12月29日～1月3日を除く)

《相談方法》

電話もしくはメール

《相談内容》

- カスタマーハラスメントの未然防止に向けた対策に関する相談、助言
- カスタマーハラスメント発生前のクレーム段階も含めた対応方法に関する相談、助言
- カスタマーハラスメント対応に関する無料法律相談



問合先

福祉部 福祉管理課長 山浦 電話:03-5744-1241

介護事業所有償ボランティアマッチング支援事業 **新規**

予算額 594万円

ポイント スキマ時間を生かして介護現場で活躍してみませんか！

事業概要

■背景・目的

大田区では、介護人材の確保が喫緊の課題となっています。

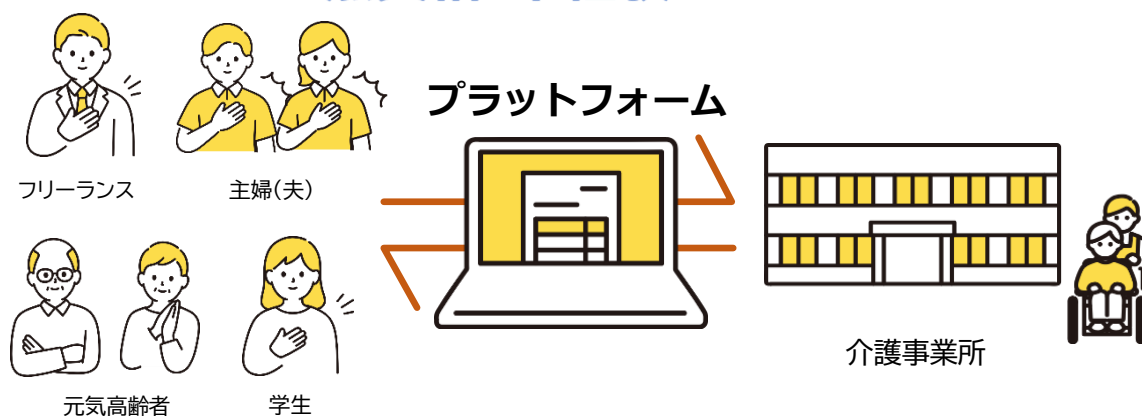
このたび、レクリエーションや見守り、話し相手などの仕事を依頼したい「介護事業所」と、スキマ時間を生かしたい「地域住民」を有償ボランティアとしてマッチングするプラットフォームサービスの導入支援を実施します。

専門職だけではなく、多様な人材が有償ボランティアとして介護の担い手になることで、介護人材のすそ野をさらに広げます。

■事業内容

- (1)介護事業所に対して、専門職でなければならない業務と未経験者、無資格者でもできる業務の切り分けの研修を実施します。
- (2)業務の切り分けに関して、介護事業所に直接出向き個別のサポートを行います。
- (3)介護事業所が支払うプラットフォームの月額利用料を6か月間、区が負担します。

無資格・未経験でOK！



地域住民と介護事業所をマッチング

【マッチング支援事業イメージ】

問合先

福祉部 介護サービス推進担当課長 松田 電話:03-5744-1266

視覚障害者代筆・代読支援事業 新規

予算額 95万9千円

ポイント 視覚障がい者への支援を拡充！自宅での読み書きを支援します！

事業概要

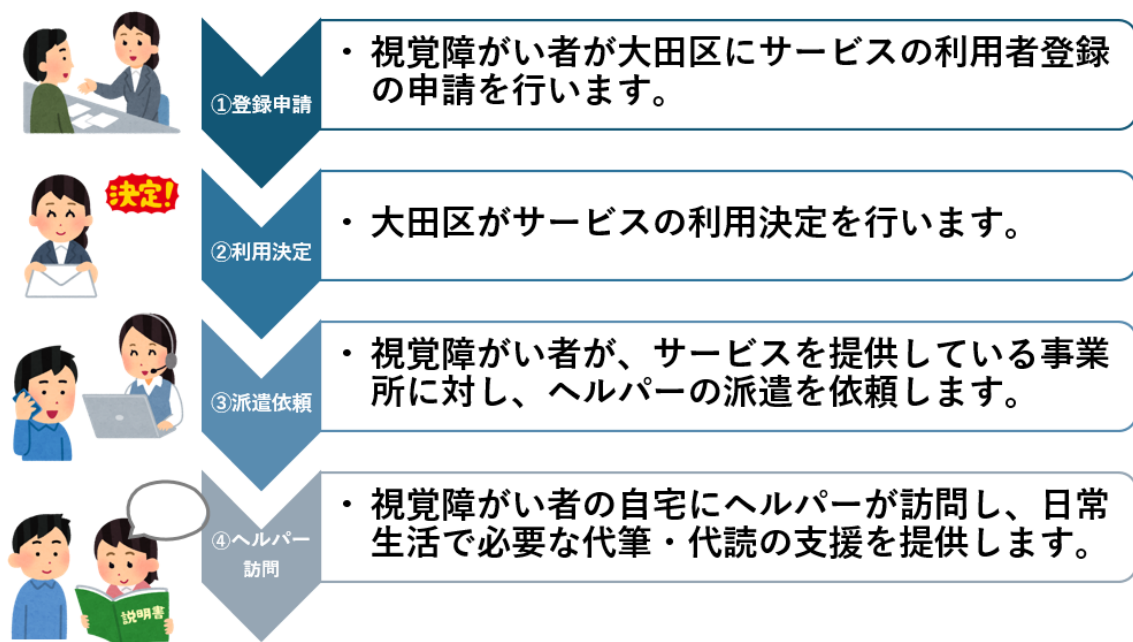
■背景・目的

視覚障がいのある方が代筆・代読の支援を受ける場合、既存の障害福祉サービスでは、障害支援区分の取得が求められるほか、外出先での支援に限定されるなど、一定の制約が生じています。

情報は全ての意思決定の根幹であり、日常生活や社会参加のために欠かすことができません。

視覚障がい者に必要な情報が行き届く環境を整備し、自立支援及び社会参加の促進を実現するため、視覚障がいによる身体障害者手帳を交付されている方を対象に、自宅にヘルパーが訪問し、書類の代筆・代読を支援するサービスの提供を令和8年秋頃から開始します。

■事業内容



問合先

福祉部 障害福祉課長 竜崎 電話:03-5744-1249

高齢者補聴器購入費助成事業の拡充

予算額 3,862万1千円

ポイント 高齢者の積極的な社会参加に寄与！助成事業を拡充します！

事業概要

■背景・目的

日常生活を営むうえでのよりよいコミュニケーションの確保と、積極的な社会参加を促すことを目的とし、聴力機能の低下により家族などとコミュニケーションがとりにくい高齢者に補聴器の購入に要する費用を助成しています。

令和8年4月から助成対象者の拡大、助成限度額の引き上げなどを実施します。

■事業内容(拡充内容等)

対象者は、これまで住民税非課税世帯の方としていましたが、住民税課税世帯まで拡大します。これまで助成は一度限りでしたが、助成から5年経過後、再度助成を受けることができます。助成限度額は、35,000円から50,000円に引き上げます。

これまでどおり、申請書に耳鼻咽喉科医師の意見及び購入前の申請が必要です。また、適切な補聴器を購入後も未永く使用していただくため、公益財団法人テクノエイド協会が認定する「認定補聴器技能者」が在籍する補聴器の販売店での購入を新たに要件とします。

	新	旧
対象者	住民税課税世帯も可能	住民税非課税世帯のみ
申請回数	5年経過後、再度助成可能	一度限り
助成限度額	50,000円	35,000円



問合せ先

福祉部 大森地域福祉課長 上田 電話:03-5764-0653

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

予算額 2,994万9千円

ポイント 待ちの姿勢から、攻めの健康づくりへ！医療専門職が届けます。

事業概要

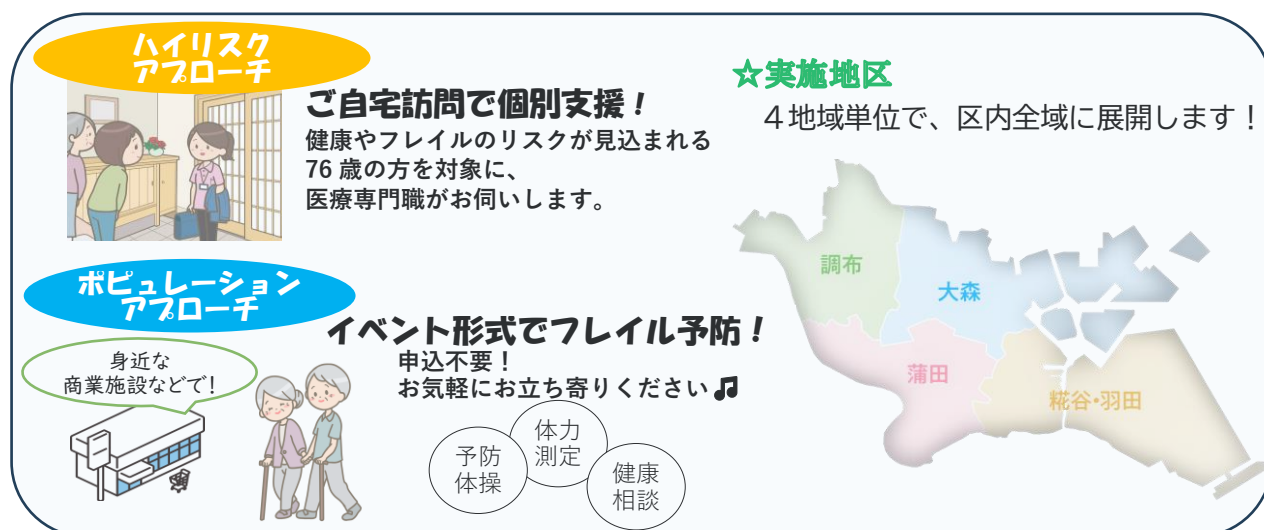
■背景・目的

東京都後期高齢者医療広域連合からの受託事業として、健診や医療、介護に関するデータなどを基に医療専門職が地域や個人の健康課題を把握・分析し、高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）と、通いの場などへの積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）を行っています。いずれも申込制によって実施していますが、令和8年度からはアプローチ方法や対象者の抽出条件、対象地区などを見直し、より広く、直接的に支援していきます。

■事業内容

ハイリスクアプローチにおいては、後期高齢の入口である76歳に照準をあて、生活習慣病治療中断者（重症化予防）、身体的フレイルに該当する対象者などを抽出し、自宅訪問型の個別支援を行います。ポピュレーションアプローチにおいては、フレイル予防の普及啓発を身近な生活拠点で行います。いずれも様々な医療専門職が連携し、「届ける」包括的な支援を目指します。

また、これまで4つの出張所管内のみで実施していましたが、区内全域を4つの地域に整理することで広く効率的に事業を展開します。



問合先

健康政策部 健康づくり課長 濱田 電話：03-5744-1660

文化を伝え育み誰もが笑顔で
いきいき暮らすまちの実現に向けた施策



大森駅と馬池洗地区の機運醸成事業 **新規** ～OMAISEN PROJECT～

予算額 1,500万円

ポイント 全国放送ドラマを契機に文化・歴史資源を結び直し、地域の価値を向上！

※「OMAISEN(おまいせん)」とは 大森、馬込、池上、洗足池のそれぞれの頭文字をとったもの

事業概要

■背景・目的

大田区は馬込文士村や幕末、近代に活躍した勝海舟など、地域に根差した多様な文化・歴史資源を有しています。

令和8年はNHK連続テレビ小説「ブラッサム」において、馬込文士村の文士であった宇野千代がモデルとして描かれ、令和9年の大河ドラマ「逆賊の幕臣」では、勝海舟のライバルといわれた小栗上野介忠順が主人公として描かれます。これらの契機を一体的に捉え、大森駅及び馬池洗地区の機運醸成プロジェクト～OMAISEN PROJECT～を立ち上げ、区制80周年や大森駅開業150周年と合わせながら地域資源を効果的に結び付け、イベントなどを通じた郷土愛の醸成と地域活性化を図ります。

■事業内容

次の3点の方針に基づいて実施します。

地域資源の磨き上げ

主な事業例

- ・放送局や関係団体との連携事業
- ・スタンプラリー
- ・ゆかりの地リーフレットの作成
など

地域参画型の取り組み

主な事業例

- ・出張所や町会イベント等での出展
- ・ワークショップの開催
など

観光・経済活性化事業

主な事業例

- ・関連グッズなどの作成
- ・公共交通機関との連携
- ・関連自治体との連携
など



【勝海舟記念館】



【馬込文士村レリーフ】



【JR大森駅ホームにある、貝塚発見を記念した土器のレリーフ】

問合先

地域未来創造部 文化芸術推進課長 三上 電話:03-5744-1217

文化を伝え育み誰もが笑顔で
いきいき暮らすまちの実現に向けた施策



区所蔵美術品等を活用した「^{びいく}美育」と地域交流の推進 新規

予算額 588万9千円

ポイント 学校×アート×地域 アートで育む生きる力と世代間交流

事業概要

■背景・目的

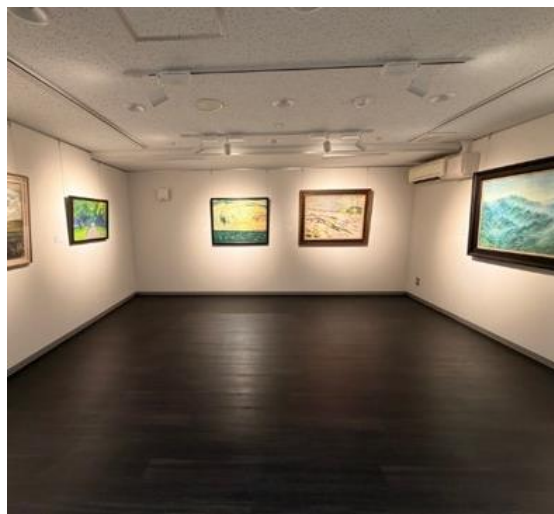
区が所蔵する美術品を活用し、また区内で活躍するアーティストとともに、学校や令和8年2月1日に開館を迎えた大田区立馬込アートギャラリーにおいて、アートを通じてこどもたちの創造性や感性を育む「美育」の推進と、地域との連携の充実を図ります。本物の美術品やアーティストとの交流体験を通じて、こどもたちの文化芸術への理解・関心を高めるとともに、世代や背景の違いを超えた新たな交流の創出や、地域コミュニティの活性化に貢献します。

■事業内容

- ①こども向け事業：令和7年度に試行的に実施した区立学校へのアウトリーチの検証を踏まえ、区所蔵美術品の学校での展示や、プロのアーティストを小中学校に派遣する学校出張講座及び夏休みアート・プログラムを実施し、文化芸術鑑賞や創作体験をこどもたちに提供します。
- ②馬込アートギャラリー地域連携事業：区内で活躍するアーティストと地域住民が交流・連携するワークショップなどを開催し、共同制作や対話を通じた地域交流の場を創出します。



【区立学校へのアウトリーチ：令和7年度試行実施】



【大田区立馬込アートギャラリー】

問合せ先

地域未来創造部 文化芸術推進課長 三上 電話：03-5744-1217

文化を伝え育み誰もが笑顔で
いきいき暮らすまちの実現に向けた施策



歴史・文化を活かしたまちづくりの推進 **新規**

予算額 1億9万1千円

ポイント 都内初！歴まち計画に基づく、ウォーカブルなまちづくりの推進

事業概要

■背景・目的

都内初となる「大田区歴史的風致維持向上計画(通称:歴まち計画)」に基づき、歴史・文化をめぐり、訪れたくなる、ウォーカブルなまちづくりを推進するため、以下の事業を実施します。また、新たな歴史的風致の掘り起こしに向け、推進協議会を運営し、協議を行います。

区内の貴重な歴史・文化を活かしたまちづくりを通じて、地域の活力向上を図ることにより、地域経済の活性化、区のブランド価値や認知度向上などの相乗効果を図ります。

■事業内容

(1)体験型まち歩き(令和8年秋ごろより開始予定)

今秋放送のNHK連続テレビ小説「ブラッサム」の主人公ゆかりの地として注目を集める「馬込文士村」をモデル地区として、AR技術などの体験型コンテンツを活用した歴史を「めぐる」楽しさを高める整備を実施します。



【現在設置されている看板】



【AR のイメージ】

(2)歴史的風致維持向上計画概要版(英語)の作成



(3)推進協議会の運営



問合先

まちづくり推進部 都市計画課長 深川 電話:03-5744-1331

文化を伝え育み誰もが笑顔で
いきいき暮らすまちの実現に向けた施策



大田区制80周年記念プロジェクト 新規

ポイント 歴史・文化を受け継ぎ、未来につながる“わくわく”するまちへ

事業概要

■背景・目的

令和9年3月15日に大田区は区制80周年を迎えます。本プロジェクトを契機として、大田区で暮らすことの価値をあらためて感じていただき、区への愛着度を高め、「住み続けたいまちNo.1」の実現をめざすとともに、地域経済の活性化や区民協働の促進など、より一層の持続可能なまちづくりを推進していきます。

■事業内容

区主催事業や地域協力事業を「大田区制80周年記念事業」として実施し、年間を通して区と地域が一体となって機運醸成を図ります。

区民の皆様も参加できる取組を企画し、区内外に大田区の魅力を発信していきます。

<大田区制 80 周年記念プロジェクト>

大田区制80周年記念事業（区制80周年：令和9年3月15日）									
区主催事業	令和8年						令和9年		
	大田区子どもガーデンパーティー	洗足池春宵の響	平和のつどい	大田区区民スポーツまつり	OTAふれあいフェスタ	（仮称）おおたタウントレック	二十歳のつどい	おおたランニングフェスティバル	大田区制80周年記念式典
地域協力事業		令和8年6月		令和8年10月～令和9年3月					
		大森駅開業150年		NHK連続テレビ小説「ブラッサム」					
							令和9年1月～12月	NHK大河ドラマ「逆賊の幕臣」	

※掲載事業は一例



【大田区子どもガーデンパーティー】



【OTAふれあいフェスタ】



【おおたランニングフェスティバル】

問合先

企画経営部 広聴広報課長 阿部 電話：03-5744-1131

(仮称)北千束二丁目複合施設の整備

予算額 1億9,755万6千円

ポイント 千束地区初の複合施設が完成します！

事業概要

■背景・目的

赤松小学校の改築にあたり、当校の特性を活かし、学校教育の維持・向上に資する教育機能を持たせるとともに、地域特性や行政需要に応じた公共施設を整備します。施設の複合化による効果的・効率的な整備を通じて相乗効果を生み、教育と地域力の新たな拠点とします。

■事業内容

1 施設のコンセプト

- (1)利便性の向上 …公共施設の集約・複合化などによる区民サービスの向上
- (2)地域のにぎわい創出 …地域の方が集う活性化拠点の整備
- (3)防災拠点機能の強化 …安全・安心なまちづくりの推進

2 施設概要

- (1)千束特別出張所
- (2)地域包括支援センター・シニアステーション
- (3)地区備蓄倉庫

3 スケジュール(予定)

令和8年7月 しゅん工、供用開始(Ⅱ期エリア)



【施設外観】



【整備イメージ】

問合先

地域未来創造部 千束特別出張所長 齋藤 電話:03-3726-4441

(仮称)都区合同庁舎の整備

予算額 19億4,160万5千円

ポイント 蒲田西地区の包括的支援・地域力推進拠点がオープン

事業概要

■背景・目的

「大田区公共施設等総合管理計画」に基づき、効果的・効率的な施設マネジメントによる区民サービスの維持・向上を実現するため、東京都と連携し、「蒲田西特別出張所」「地域包括支援センター」などと「大田都税事務所」からなる都区合同庁舎を整備します。

■事業内容

1 施設のコンセプト

- (1)地域のさらなる活性化 … 出張所を中心とした地域活性化拠点の整備
- (2)包括的支援の充実 … 笑顔とあたたかさあふれる地域共生社会を実現

2 施設概要

- (1)蒲田西特別出張所
- (2)地域包括支援センター・シニアステーション
- (3)大田区シルバー人材センター
- (4)大田区社会福祉協議会
- (5)大田都税事務所

3 スケジュール(予定)

令和8年9月末 しゅん工



【施設外観イメージ】



【1階エントランスホールイメージ】

問合先

地域未来創造部 蒲田西特別出張所長 飛田 電話:03-3732-4785

(仮称)西蒲田七丁目複合施設の整備

予算額 5億2,311万2千円

ポイント 蒲田西地区の包括的支援・地域力推進拠点がオープン

事業概要

■背景・目的

旧・蒲田西特別出張所跡地に、地域活動支援、若者相談支援、生活再建支援、子育て支援など、地域住民の様々なニーズに対応し、切れ目のない支援と区民活動への参画を促進するための公共施設を整備します。

■事業内容

1 施設のコンセプト

- (1)地域のさらなる活性化 … 多世代の方が集う地域力推進の拠点の整備
- (2)包括的支援の充実 … 笑顔とあたたかさあふれる地域共生社会を実現

2 施設概要

- (1)(仮称)蒲田西地区地域活動拠点(現・ふれあいはすめま集会室)
- (2)大田区若者サポートセンター(フラットおおた)
- (3)大田区生活再建・就労サポートセンター(JOBOTA)
- (4)大田区ひきこもり支援室(SAPOTA)
- (5)一時預かり保育室

3 スケジュール(予定)

令和8年8月末 しゅん工



【施設外観イメージ】



【1階エントランスホールイメージ】

問合先

地域未来創造部 蒲田西特別出張所長 飛田 電話:03-3732-4785

文化を伝え育み誰もが笑顔で
いきいき暮らすまちの実現に向けた施策



コミュニティセンター羽田旭の整備

予算額 4,055万6千円

ポイント 生まれ変わったコミュニティセンター羽田旭を利用してみよう！

事業概要

■背景・目的

コミュニティセンター羽田旭は、旧羽田旭小学校敷地活用事業により、令和8年秋の供用開始をめざし、産業支援施設と一体的に新施設を整備しています。新施設では、指定管理者による管理運営を導入し、民間のノウハウにより、産業支援施設と連携した運営を行うとともに、防災活動拠点としての機能向上を図るなど施設を最大限活用することにより、「持続可能な地域コミュニティの形成」を目指します。

■事業内容

1 施設のコンセプト

- (1)地域コミュニティの活性化 … 地域住民が集い、相互に学び、交流し、活動する事業推進
- (2)防災活動拠点機能の強化 … 大規模発災時、信頼できる拠点の整備

2 施設概要

- 1階：第1～4集会室、コミュニケーションスペース、更衣室(シャワーブース併設)
- 2階：体育館、防災備蓄倉庫

3 スケジュール(予定)

- 令和8年度秋 しゅん工、供用開始
- 令和9年度中 グラウンドを含む施設全体供用開始



【施設外観イメージ】



【1 階コミュニケーションスペース
イメージ】



【2 階体育室イメージ】

問合先

地域未来創造部 羽田特別出張所長 清水 電話:03-3742-1411

